



動的画像処理実利用化ワークショップ DIA2026

<http://www.tc-iaip.org/DIA2026/>

開催日：2026年3月3日（火）、4日（水）

会場：高知工科大学永国寺キャンパス（高知県高知市永国寺 2-22）

DIA（Dynamic Image processing for real Application）ワークショップは、マシンビジョン/コンピュータビジョン分野における画像処理の実利用に関わる研究・開発の発表、討議、情報交換の場として、毎年日本各地で開催されて来ました。2026年は、NHK「あんぱん」で盛り上がり、かつおの叩きのうまい高知県は高知工科大学永国寺キャンパス（高知市）での開催の運びとなりました。画像処理を実用化する上での新手法・新技術の提案や最新のビジョン関連技術に関する情報交換の場として有益な機会になるものと確信しています。産・官・学の研究者・技術者、その他画像処理とその応用技術に関心を持つ関係者の積極的なご参加を期待しております。つきましては、

- ◆ 「インタラクティブセッション」参加者と1対1での対話形式での発表
- ◆ 「オーラルセッション」会場における口頭形式での発表
- ◆ 「機器デモ展示」その場でシステムの動作の様子や効果をアピール

について募集いたします。ご応募をお待ちしております。なお若手研究者による優秀な発表には研究奨励賞を授与します。詳細はホームページをご覧ください。

特別講演

廣瀬 丈洋 研究所長 海洋研究開発機構 高知コア研究所 海洋掘削科学の世界 ～地球深部探査船「ちきゅう」でプレート地震を探る～			篠森 敬三 教授 高知工科大学 色の印象評価の複雑さ —色の印象評価はどのくらいあてになるか—
--	--	---	--

スコープ：論文募集分野を例示します（これらに限るものではありません）。

- ◆ 画像応用システム（FA、セキュリティ、防災、ITS、農業、医療、環境、エネルギー分野等）
- ◆ イメージセンサ、画像デバイス、3D計測、センサ統合、画像処理プロセッサ
- ◆ ヒューマン・マシン・インタラクション、VR、AR、MR、感性情報処理、情報提示
- ◆ 画像照合、画像検索、映像分析、メディア理解、コンテンツ生成
- ◆ 画像理解、物体認識、ロボットビジョン、シーン解析、多波長センシング、AIドローン
- ◆ パターン認識、学習アルゴリズム、統計的手法、モデリング、進化型システム

講演申込：2025年12月初旬

ホームページよりオンラインでお申し込み下さい。ID取得後、2ページ程度の講演概要をご提出下さい。

原稿提出：2026年1月中旬

参加申込：ホームページよりオンラインでお申し込み下さい。講演者、精密工学会会員、協賛組織会員の方は15,000円、その他一般の方は20,000円、学生（講演の場合も含む）の方は5,000円です。講演概要集は当日、受付にてお渡しします。講演論文集はホームページからのダウンロードを予定しています。他にチャトルバス代を徴収予定です。

主 催：公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会

実 行 委 員 長：栗原 徹（高知工科大学）

プログラム委員長：永田 毅（明治学院大学）

問い合わせ：〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

アドコム・メディア（株）内 画像応用技術専門委員会事務局 DIA2026 係

TEL：03-3367-0571、FAX：03-3368-1519、e-mail：iaip@adcom-media.co.jp



Redhill1967 見学